

(知識等習得コース)

委託訓練カリキュラム

訓練の種類別 (該当する項目は「✓」印)	資格の取得をめざす訓練	✓	職場見学等を実施する訓練	
訓練科名	介護福祉士実務者研修科(6か月)【託児付】	就職先の 職務・仕事	高齢者・障がい者施設介護職員、高齢者・障がい者訪問介護員、および 介護リーダー職	
訓練期間(定員)	6か月(20人)【託児定員:3人】			
訓練受講生の条件	特になし			
訓練目標 (仕上がり像)	介護に従事する者として必要な基礎から応用までの知識・技能を身につけるとともに、実務者に必要とされる専門的な知識・技能を習得する。			
訓練概要	介護福祉士国家資格の取得を目標にベテラン介護職としてキャリアアップをめざされる方のために、実務者研修を通して介護の基礎から応用まで福祉の考え方や介護技術・医療的ケアを習得し、全身性ガイドヘルパー講座や介護職リーダー研修を学び多様な働き方を可能にし、キャリアコンサルティング、職業見学などにより、受講生が自らの「強み」を活かした「やりがい」のある職種を明確にして就業できるように就職支援を行う。			
訓練修了後に 取得できる資格	名称(実務者研修修了証明書) 名称(移動支援従事者養成研修 全身性課程) 名称(普通救命講習Ⅰ)	認定機関(NPO法人あすなろ) 認定機関(NPO法人あすなろ) 認定機関(堺市消防局)		
DL	科目	科目の内容	時間	
訓練 内容	(1) 人間の尊厳と自立	①人間の多面的な理解と尊厳 ②自立の支援 ③人権と尊厳	6	
	(2) 社会の理解Ⅰ	①介護保険制度の背景と目的 ②介護保険制度の基礎的理解 ③介護保険制度における専門職の役割	6	
	(3) 社会の理解Ⅱ	①社会と生活のしくみ ②地域共生社会の実現に向けた制度や施策 ③社会保険制度 ④障害者総合支援制度 ⑤介護実践にかかわる諸制度	36	
	(4) 介護の基本Ⅰ	①介護福祉士の制度 ②尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開 ③介護福祉士の倫理	12	
	(5) 介護の基本Ⅱ	①介護を必要とする人の生活の理解と支援 ②介護実践における連携 ③介護における確保とリスクマネジメント ④介護福祉士の安全	24	
	(6) コミュニケーション技術	①介護におけるコミュニケーション技術 ②介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	24	
	(7) 生活支援技術Ⅰ	①生活支援とICF ②居住環境の整備と福祉用具の活用 ③移動・移乗の介護技術の基本 ④食事の介護技術の基本 ⑤入浴・清潔保持の介護技術の基本 ⑥排泄の介護技術の基本 ⑦着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本 ⑧家事援助の基本	24	
	(8) 生活支援技術Ⅱ	①移動・移乗の介護 ②食事の介護 ③入浴・清潔保持の介護	36	
	(9) 介護過程Ⅰ	①介護課程の意義と目的 ②介護過程の展開 ③介護過程とチームアプローチ	24	
	(10) 介護過程Ⅱ	①介護職による介護過程の進め方 ②介護過程の実践的展開 ③施設で暮らす高齢者の介護過程 ④在宅で暮らす高齢者の介護過程	30	
	(11) 介護過程Ⅲ(スクーリング)	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	54	
	学科 (講義)	(12) ことごとからだのしくみⅠ	①移動・移乗に関連するからだのしくみ ②食事に関連するからだのしくみ ③入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ ④排泄に関連するからだのしくみ⑤着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ ⑥睡眠に関連するからだのしくみ	24
	実技 (演習)	(13) ことごとからだのしくみⅡ	①人間の心理 ②人体の構造と機能 ③移動・移乗における観察のポイント ④食事における観察のポイント ⑤入浴・清潔保持における観察のポイント ⑥排泄における観察のポイント ⑦着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント ⑧睡眠における観察のポイント ⑨終末期における観察のポイント	72
		(14) 発達と老化の理解Ⅰ	①こころの変化と日常生活への影響 ②からだの変化と日常生活への影響	12
		(15) 発達と老化の理解Ⅱ	①人間の成長・発達 ②老年期の発達・成熟と心理 ③高齢者に多くみられる症状・病等	24
		(16) 認知症の理解Ⅰ	①認知症ケアの理念と視点 ②認知症による生活障害、心理・行動の特徴 ③認知症の人とのかかわり・支援の基本	12
		(17) 認知症の理解Ⅱ	①医学的側面からみた認知症の理解 ②認知症の人や家族への支援の実際	24
		(18) 障がいの理解Ⅰ	①障害者福祉の理念 ②障害による生活障害、心理・行動の特徴 ③障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本	12
		(19) 障がいの理解Ⅱ	①医学的側面からみた障害の理解 ②障害児・者への支援の実際	24
		(20) 医療的ケア 講義	① 医療的ケア実施の基礎 ②高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 ③高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 ④高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑤高齢者および障害児・者の経管栄養手順解説	60
		(21) 医療的ケア 演習	①喀痰吸引のケア実施 ②経管栄養のケア実施 ③救急蘇生の実施	15
安全衛生		福祉職場における安全衛生および腰痛予防	3	
○	デジタルリテラシー	「社会の変化」「モラル」「コンプライアンス」要素の理解	3	
	働くことの基本ルール	労働契約締結 賃金・労働時間・休憩・休日・有給休暇 労働契約の終了 労働保険 社会保険 母性保護など	3	
	全身性ガイドヘルパー講座(講義)	障がい者(児)福祉制度と移動支援事業 移動支援従事者の業務 移動支援従事者の職業倫理 障がい者の人権 障がいの理解 障がい者(児)の心理 移動介助の基礎的知識	14	
	全身性ガイドヘルパー講座(演習)	移動介助の基本技術 交通機関利用の介助援助	11	
	普通救命講習Ⅰ	心肺蘇生法、AED、異物除去、止血法	3	
	介護職リーダー研修	介護計画の理解・作成 介護職員の指導・育成・管理 クレーム処理・リスクマネジメント	12	
就職 支援	社会人基礎力	「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力と12の能力要素の理解と実践	6	
	コミュニケーション能力	コミュニケーションの基本、報告・連絡・相談研修、アンガーマネジメント講座	6	
	ビジネスマナー	介護福祉や障がい者福祉における接遇マナー、利用者様と家族様に対する接遇マナー	6	
	就職支援	履歴書、職務経歴書などエントリーシートの作成、就職面接のロールプレイ	3	
	ふくしフィールドワーク(現場見学)	特別養護老人ホーム、グループホーム、障がい者就労継続支援事業所B型のなかから2カ所訪問し、施設職員の説明を受けながら福祉サービス提供の実態を見学する。	6	
	キャリアコンサルティング	ジョブ・カードの作成指導、自己理解と仕事理解への取り組み、啓発的経験の紹介、意思決定への促進、方策の実行への誘導	14	
	アンガーマネジメントの理解	「怒り」をコントロールする意義、「怒り」感情の機能と役割、「怒り」の事例検討、衝動のコントロール、思考のコントロール、行動のコントロール	3	
訓練時間総合計			648 時間	
学科	431 時間	実技	173 時間	
		就職支援	44 時間	

※DL(デジタルリテラシー): 訓練分野の特性に応じた基礎的なデジタルリテラシーの要素を含む